（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	ふくら夢・希望（ふくらトータルケア那珂）

公表日　2026 年 3 月 30 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	時間によってスタッフを入れ替えて必要な場所に必要なスタッフを配置している。/各職員が動線をなくさないよう意識している。/どのフロアも床暖房がついており、天窓や寝転がった時にも安心して落ち着けるような空間です。ソファーコーナーや絨毯コーナーなど、飽きずに1日の中でいろいろなところで過ごせる環境が整っている。児発のお部屋はふわふわのフローリングでハイハイなどしても快適です。晴れた日にはウッドデッキでシャボン玉など出来ていい。/状況に応じてセカンドだけでなく診察室などを使用し、適切なスペースの確保を行なっていると思う	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	3	看護師の加算がされていたり様々な資格の職員がいて皆親切で一緒に働きやすい環境です。	送迎、入浴専任のスタッフがいると良いと感じることがある。/時間帯や急なスタッフの休みにより忙しく感じられることもあるが、スタッフ間で協力しあいながら適切な配置となるよう整えています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	利用者の住みやすい環境を目指して作られている。/活動や休息を個別性を考えて対応している/重心児に合わせて令和1年に新築した建物で、建築アドバイザーの意見も聞いて作った空間の為快適だと思います。	個室トイレはベットや手すり、踏み台なども配置しているが、さらに使いやすくなるよう工夫しながら環境を整えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	クッションフロア、ソファーコーナー、絨毯コーナー等ワンフロアの中に多様なブロックがある/毎日の掃除の仕上げには微酸性電解水を使用して床やおもちゃ、手すり等もチェックリストを使用しながら清掃をしている。/都度、片付けや必要に応じて消毒も行っている	活動が中断することがないよう安全や清潔に配慮した環境を整えていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		家族からの情報やスタッフが観察し心身の状況を的確にアセスメントし場所や空間の提供ができている/必要に応じて仕切りを使うなどして落ち着く環境を作っている	部屋の空き状況を確認しながら使用できるよう心掛けています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	2	意見を出し合い療育活動を計画している/勉強会やミーティングなどの時間で行うか事が出来ている。/面談での内容や目標や振り返りも社内共有アプリ（ラインワークス）を使用して関わる職員が目を通して改善できる環境が整っていると思う。	PDCAサイクルを滞りなくすすめるべく、ミーティングなどを利用して細やかに意見交換していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	日常の会話等で得た事等も共有している/共有アプリのノートを使用し各職員が意識している/保護者の声に耳を傾けて更によいサービスや利用者一人ひとりに寄り添えるよう工夫していると思う。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	ミーティングやカンファレンスを実施している/ミーティングやラインワークスが活用できている/月に1回の全体勉強、各部署でのカンファ、その他必要に応じて話し合う機会が設けられている。	個別の面談などをさらに細やかに設け、スタッフと話し合い、活動に繋げて参ります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2	ミーティングを開催している/コンサルや医療アドバイザーの方に定期的に入ってもらって意見をいただいたり勉強会を開催している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	月1で研修があったり外部研修も参加できる環境がある/どうしても参加できない時の、動画研修や資料があるといい。参加したあとも復習になる/毎月の勉強会では外部講師の話など聞く機会が確保されている。/対象者は喀痰吸引第一号や、児発管、サビ管研修等会社負担で受けられる。その他外部研修も必要に応じて参加している。	介護や医療が多い現場であるためさらに介護実技等についての研修、勉強会をしたいと思います。

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1		定期的なカンファレンスの実施を行っている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		LINEWORKS等で情報共有をしたりカンファレンスを実施している/共有事項は社内連絡アプリで共有し、管理者以外の職員も利用者様やご家族の事を理解しながら利用者様第一で個別の対応を心を込めてしている。/最近は面談でのお話を共有して貰えるようになったなと感じます	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	7	2		現場に入っているスタッフは行えていないと思う。時間に追われてその場にある業務をひたすらやっています。カンファレンスやLINEWORKSを利用してさらなる共有を図って参ります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	3		ベースとなるツールを用いてより細やかにアセスメントを行って参ります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	保育療育委員会を中心に季節や機能訓練を意識した楽しい療育を考えて提供している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	各職員それぞれのアプローチで活動を行っている/活動が似通ってしまうことがあるので、職員で案を出しあい子供たちが楽しめる活動を常に提供していく。/様々な療育活動を考えて行なっている。療育の中で機能訓練や音楽療法なども取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	社内連絡アプリや朝礼で確認をしている。worksなどで流れる	朝礼以外でも、職員同士で支援の内容や役割分担を把握しながら連携支援を行えるよう、運営していきたいと思います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6	3	気付いた点等の共有はまめに行われている/社内連絡アプリでの共有や必要な時にはカンファなども実施している。	送迎の時間などが重なり、担当職員全員での振り返りが難しい事もあるが、職員で気づいたことがあれば役職者に相談し改善に務めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	全体に共有が必要な個別事案に関して記録、共有できている。/写真や動画を利用して判断の難しいケースを共有して画一できるよう工夫している/気づいたことは職員全員と情報共有し改善に繋げられている。/連絡帳の控えを保管している。必要な事は社内連絡アプリのノートに保存をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		時間に追われがちな業務の中でも利用者の選択を大切にし、寄り添った支援を行っている/常に子どもたちが選択できるような声掛けをし支援している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		保護者の方や学校との連絡は密にとっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1		移行支援会議以外の機会にも、療育今後更に連携を強化していきたいです。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	6	3		アドバイザーの方から助言をいただいたり、研修を受けたりしている。地域の支援センターとも、より連携を図っていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	法人内での他の事業所との交流や、就労支援の方にドーナツの販売等を定期的に開催し交流の場を設けている。	地域の行事（演奏会やマルシェ等）への参加の計画をしております。今後も地域との交流の機会が増えるよう、計画して参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		全体的に関係が良好で、保護者と一緒に発達を見守っている/送迎時や連絡帳などを通じて密に共有している。/連絡帳や送迎時にて共有している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	9			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		個別の面談や電話相談だけでなく送迎の際にもさまざまなお話しをできている。/個別面談、連絡帳、送迎時などで適切に対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	3	茶話会を開催している。 定期的に茶話会を開催している。今後保護者向け講演会なども出来たらいいと思う。	計画中のため、今後も積極的に取り組んでいきたいです。茶話会に加え、ご家族参加型の活動も計画して参ります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		worksやミーティングで共有される	クレーム発生から保護者対応、対策検討は迅速ではある。該当職員への指導、技術研修も今後設けて参ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		SNSの更新や定期的にふくら通信(広報)を発行している。/活動の様子や事業所のお知らせなど、頻繁に発信できている。保護者からも好評。/3ヶ月に1度ふくら通信の発行や、日々SNSや利用者専用ページに療育の様子を掲載している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		SNS等は承諾を得た方のみを掲載している。社内連絡ツールは退職や異動があった際にはすみやかに退会したり、入職時には職員に対して個人情報の取り扱いについての誓約書を取っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		様々なツールを用いてコミュニケーションを取ったり、保護者や学校等と連携して利用者の理解を深め制度を高めている。/連絡帳や送迎時または何かあった際にはすぐに連絡している	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4		今後も地域と連携し、療育活動の幅を広げられるよう企画して参ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2		今後は様々な状況下を想定した訓練を行っていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		看護師を中心に情報共有できている。/新しい発作の形などがあった際には動画やご家族から共有されている	看護師は把握して業務にあたっているが、てんかん以外の情報も継続して全員が把握できるよう努めたい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		食事担当もリストに添って確認しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		勉強会、外部研修への参加もあります。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	9			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		些細なことでも次の改善に繋げられるようヒヤリハットを出す文化が出来ている。/ファイルがありチェックしたかどうかの表もある	今後はさらに情報を具体的に共有し、再発防止に努めたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	虐待になりうるケースが合った場合は各自が報告相談している/勉強会で取り扱っている。/しっかりとその委員会がある	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1	勉強会の開催や掲示等をしている。	放課後デイサービスのガイドラインがあり、勉強会でも取り扱っています。今後はさらに他職種連携できるよう他スタッフとの情報共有をしっかり行って参ります。